

報告第22号

専決処分したものの報告について

市長に委任する専決処分事項の指定について(平成21年6月23日議決)の規定により、下記の事項について別紙のとおり専決処分したから、地方自治法(昭和22年法律第67号)第180条第2項の規定により報告する。

平成28年12月2日提出

豊岡市長 中 貝 宗 治

記

- 1 損害賠償の額を定めることについて
- 2 損害賠償の額を定めることについて
- 3 損害賠償の額を定めることについて

専決第13号

損害賠償の額を定めることについて

損害賠償の額の決定について、市長に委任する専決処分事項の指定について（平成21年6月23日議決）の規定により、下記のとおり専決処分する。

平成28年11月21日専決

豊岡市長 中 貝 宗 治

記

事件区分及び 事故発生年月日	物損事故 平成28年10月3日（月）午前10時10分頃
事故発生場所	兵庫県豊岡市桜町 [REDACTED] [REDACTED]
相手方の 住所氏名	[REDACTED] [REDACTED]
損害賠償額	金 91,800円 也
事故の概要	[REDACTED]職員が運転する公用車が、[REDACTED]の玄関前スロープを通り抜けて駐車場に入ろうとした時、スロープ右側に通行人がいたため、左側へハンドルを切った。その際、左側の注意確認が不十分であったため、[REDACTED]玄関支柱に車両を接触させ、損傷させたもの。 (過失割合 豊岡市 10割)

専決第14号

損害賠償の額を定めることについて

損害賠償の額の決定について、市長に委任する専決処分事項の指定について（平成21年6月23日議決）の規定により、下記のとおり専決処分する。

平成28年11月21日専決

豊岡市長 中 貝 宗 治

記

事故区分及び 事故発生年月日	物損事故 平成28年9月23日（金）午後0時30分頃
事故発生場所	兵庫県豊岡市但東町太田560番地先 市道中山太田線
相手方の 住所氏名	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■ ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■
損害賠償額	金 13,392円 也
事故の概要	相手方が、自家用車で市道中山太田線を但東町太田から但東町中山方面へ走行中に、道路の陥没箇所に車両右側前輪が落ち、ホイールとタイヤを損傷したもの。 (過失割合 豊岡市4割：相手方6割)

専決第15号

損害賠償の額を定めることについて

損害賠償の額の決定について、市長に委任する専決処分事項の指定について（平成21年6月23日議決）の規定により、下記のとおり専決処分する。

平成28年11月21日専決

豊岡市長 中 貝 宗 治

記

事故区分及び 事故発生年月日	交通事故 平成28年9月16日（金）午前9時20分頃
事故発生場所	兵庫県豊岡市九日市下町 国道426号八条小学校前交差点東約100m地点
相手方の 住所氏名	████████████████████ ████████████████████
損害賠償額	金 32,054円 也
事故の概要	██████████職員が、豊岡市九日市下町地内の国道426号八条小学校前交差点付近において、公用車を左車線に車線変更したところ、後方への注意確認が不十分であったため、左車線後方から直進してきた相手方自動車の右サイドミラーに接触し、損傷させたもの。 (過失割合 豊岡市8割：相手方2割)

報告第23号

株式会社北前館第25期の決算及び第26期の事業計画に関する書類に
ついて

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、別紙のと
おり報告する。

平成28年12月2日提出

豊岡市長 中 貝 宗 治

決算等の状況の報告

株式会社 北 前 館

株式会社北前館第 25 期事業報告

1 事業の概要と成果

第 25 期は、北前館を山陰海岸ジオパーク竹野エリアの拠点施設として整備するためのリニューアル工事により、12 月から 3 月いっぱいの 4 か月間、施設周囲を足場とシートで覆われる状況となり、忘新年会シーズンの宴会やカニシーズンの入浴のお客様に大変ご不便をおかけいたしました。

上半期は、工事の影響もあって営業成績が前年を下回る厳しい展開でありましたが、労務のシフト管理による人件費の効率化、施設の一部の LED 化、電力供給会社の変更などの経費削減対策により、売り上げベースでの伸びはないものの経常利益ベースでは前年を上回る結果となりました。

施設改修後の下半期は、施設のリニューアル効果により来館者数の増加が顕著にみられました。

夏期のトップシーズンには、たけの観光協会が関西で初めての海上アスレチックを導入され、その受付業務を受託するとともに、JR 西日本と連携した「竹野浜、手ぶらで海水浴」を実施いたしました。

また、それらに伴い、関西圏より 6 名の大学生のアルバイトを採用するなど実験的な新しい運営方法の導入により大きく売り上げを伸ばすことができました。

年間を通した総売上高では、99,520 千円、前年比で 1,349 千円の増となり、経常利益は 4,178 千円と期初の計画を達成し、当期純利益は 4,005 千円で、前年対比 360.5% の増益となりました。

これもひとえに株主の皆様をはじめ、市民の皆様、事業協力を賜りました諸団体の皆様方のご支援の賜物と心から厚くお礼申し上げます。

しかしながら、経常利益での予算は達成したものの、夏期に収益の大半を依存する体質からの脱出はまだまだ難しく、今期同様、竹野地域の活性化活動への積極的な参加、他地域観光施設との連携強化など地道な活動を継続するとともに、地元と連携した特産品づくりや新しい竹野の魅力をアピールする商品の開発、情報発信などに重きを置いた運営を行う必要性を痛感しております。

まだまだ運営体質の改善、組織の再構築も道半ばですが、北前館が竹野に存在する意義を皆様に感じていただける施設として支持いただけるようさらなる改善に取り組む所存でございます。

引き続き、より一層のご支援、ご協力をお願い申し上げまして、第 25 期の事業報告とさせていただきます。

2 売上状況

(単位：千円)

部 門	レストラン	温 泉	特産品店	業務受託	駐車場	ジオパーク	その他	合 計
売上高	37,252	20,667	12,074	9,428	10,561	5,495	4,043	99,520

3 営業成績及び財産状況の推移

(単位：千円、一株当たり当期利益のみ円)

区 分	第 21 期 平成 24 年 9 月	第 22 期 平成 25 年 9 月	第 23 期 平成 26 年 9 月	第 24 期 平成 27 年 9 月	第 25 期 平成 28 年 9 月
売 上 高	94,457	88,368	84,076	98,171	99,520
経 常 利 益	674	473	△5,828	1,319	4,178
当 期 利 益	463	265	△6,039	1,111	4,005
一株当たり当期利益	927	530	△12,078	2,222	8,010
総 資 産	29,939	36,173	34,292	35,477	31,301
純 資 産	△19,352	△19,086	△25,125	△24,014	△20,009

4 会社概要

- (1) 商 号 株式会社北前館
- (2) 本 店 兵庫県豊岡市竹野町竹野 50 番地の 12
- (3) 成立年月日 平成 3 年 10 月 7 日
- (4) 事 業
- ① レストラン、喫茶店の経営に関する事業
 - ② 温泉浴場施設の管理運営に関する事業
 - ③ 特産品の開発及び加工並びに販売に関する事業
 - ④ 公共施設の維持管理に関する事業
 - ⑤ 駐車場の管理運営に関する事業
 - ⑥ 飲食物、日用品等の販売に関する事業
 - ⑦ 温泉の配湯に関する事業
 - ⑧ 公共的団体の事務局に関する事業
 - ⑨ 山陰海岸ジオパークのガイドに関する事業
 - ⑩ 前各号に付帯又は関連する一切の事業
- (5) 発行株式
- ① 発行済株式の総数 500 株
 - ② 発行価格 1 株当たり 50,000 円
 - ③ 当期末株主数 127 人
- (6) 資本金の額 2,500 万円

5 社 員

(単位：人)

区 分	社 員	パート・アルバイト	合 計
前期末 平成27年9月30日	8	4	12
当期末 平成28年9月30日	8	4	12
増 減	0	0	0

6 取締役及び監査役

役 職 名	氏 名	備 考
代表取締役	石 田 孝 一	
取 締 役	橋 本 幹 夫	
取 締 役	岩 井 美 晴	
取 締 役	太田垣 健 作	
取 締 役	佐々木 安 孝	
取 締 役	宮 部 岩 雄	
監 査 役	太田垣 征 司	
監 査 役	宮 嶋 俊 夫	

決 算 報 告 書

第 25 期

自 平成 27 年 10 月 1 日

至 平成 28 年 9 月 30 日

株式会社 北前館
兵庫県豊岡市竹野町竹野 50 番地の 12

貸借対照表

株式会社 北前館

平成28年9月30日現在

科 目	金 額	科 目	金 額
			円
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	(23,974,521)	流動負債	(16,179,619)
現金・預金	18,077,752	買掛金	1,401,071
売掛金	2,405,863	未払金	5,361,991
棚卸資産	2,376,412	1年以内返済長期借入金	6,120,000
前払費用	182,520	リース未払金	1,754,412
立替金	6,216	未払法人税等	211,000
仮払金	945,758	未払消費税等	1,033,200
貸倒引当金	△20,000	預り金	297,945
固定資産	(7,326,623)	固定負債	(35,131,000)
有形固定資産	(4,661,692)	長期借入金	35,131,000
建物	2,174,469		
構築物	44,033	負債の部計	51,310,619
工具・器具・備品	592,110	(純資産の部)	
車両運搬具	54,152	株主資本	(△20,009,475)
一括償却資産	42,516	資本金	25,000,000
リース資産	1,754,412		
無形固定資産	(1,915,274)	利益剰余金	(△45,009,475)
ソフトウェア	1,915,274	利益準備金	800,000
投資その他資産	(749,657)	その他利益剰余金	(△45,809,475)
出資金	13,000	繰越利益剰余金	△45,809,475
長期前払費用	736,657	(うち当期純利益)	(4,005,372)
資産の部計	31,301,144	純資産の部計	△20,009,475
		負債・純資産の部計	31,301,144

損 益 計 算 書

株式会社 北前館

自 平成 27 年 10 月 1 日
至 平成 28 年 9 月 30 日

科 目	金 額	
		円
【売 上 高】		99,520,846
レストラン売上高	37,251,738	
温泉浴場売上高	20,666,520	
特産品店売上高	12,073,708	
受 託 料	9,428,000	
駐 車 場 整 理 料	10,561,500	
シオカヌー利用料	5,495,440	
そ の 他	4,043,940	
【売 上 原 価】		25,647,553
期 首 棚 卸 高	1,548,251	
仕 入 高	25,957,751	
合 計	27,506,002	
期 末 棚 卸 高	1,858,449	
売 上 総 利 益		73,873,293
【販売費及び一般管理費】		71,433,872
営 業 利 益		2,439,421
【営 業 外 収 益】		2,764,276
受 取 利 息	1,601	
受 取 配 当 金	600	
雑 収 入	2,762,075	
【営 業 外 費 用】		1,025,314
支 払 利 息	1,025,314	
経 常 利 益		4,178,383
【特 別 利 益】		8,578,000
補 助 金 収 入	8,578,000	
【特 別 損 失】		8,540,011
固 定 資 産 圧 縮 損	8,540,011	
税 引 前 当 期 純 利 益		4,216,372
法 人 税 等 充 当 額		211,000
当 期 純 利 益		4,005,372

販売費及び一般管理費内訳書

株式会社 北前館

自 平成 27 年 10 月 1 日
至 平成 28 年 9 月 30 日

科 目	金 額	
		円
給 与 手 当	30,926,207	
役 員 報 酬	830,000	
法 定 福 利 費	3,793,914	
福 利 厚 生 費	346,611	
広 告 宣 伝 費	1,775,061	
発 送 配 達 費	93,290	
減 価 償 却 費	3,088,643	
賃 借 料	353,287	
修 繕 費	1,249,859	
事 務 用 消 耗 品 費	420,564	
通 信 交 通 費	1,878,178	
水 道 光 熱 費	12,680,494	
租 税 公 課	2,744,850	
会 費 負 担 金	856,989	
接 待 交 際 費	388,187	
保 険 料	1,112,282	
備 品 ・ 消 耗 品 費	2,766,263	
支 払 手 数 料	3,567,173	
車 両 関 係 費	496,875	
リ ー ス 料	446,316	
貸 倒 償 却 費	12,000	
雑 費	1,606,829	
合 計		71,433,872

棚卸資産の計算内訳

株式会社 北前館

平成 28 年 9 月 30 日現在

科 目	金 額	
		円
商 品	1,858,449	
貯 蔵 品	517,963	
合 計		2,376,412

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

自 平成 27 年 10 月 1 日
至 平成 28 年 9 月 30 日
(単位：円)

株式会社 北前館

	株主資本						新株予約権	純資産合計
	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計		
	資本準備金	他資本剰余金	資本準備金	他利益剰余金				
当期首残高	25,000,000		800,000	△49,814,847		△24,014,847	△24,014,847	
当期変動額								
剰余金の内訳科目間の振替								
剰余金の配当								
当期純利益				4,005,372		4,005,372	4,005,372	
当期変動額合計				4,005,372		4,005,372	4,005,372	
当期末残高	25,000,000		800,000	△45,809,475		△20,009,475	△20,009,475	

	利益剰余金の内訳					利益剰余金 合計
	利益準備金	退職給付 積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計	
当期首残高	800,000			△49,814,847	△49,014,847	△49,014,847
当期変動額						
剰余金の内訳科目間の振替						
剰余金の配当						
当期純利益				4,005,372	4,005,372	4,005,372
当期変動額合計				4,005,372	4,005,372	4,005,372
当期末残高	800,000			△45,809,475	△45,009,475	△45,009,475

個別注記表

株式会社 北前館

自 平成27年10月1日
至 平成28年9月30日

- 1 この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。
- 2 重要な会計方針に係る事項に関する注記
 - (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
最終仕入原価法による原価法を採用しています。
 - (2) 固定資産の減価償却方法
 - ① リース資産
定額法を採用しています。
 - ② 有形固定資産
定額法又は旧定額法を採用しています。
なお、一括償却資産については、3年均等償却を採用しています。
 - ③ 無形固定資産
定額法を採用しています。
 - (3) 引当金の計上基準
 - ① 貸倒引当金
債権の貸倒損失に備えるため、法人税法に規定する法定繰入率により計算した回収不能見込み額を計上しています。
 - (4) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式を採用しています。
- 3 貸借対照表等に関する注記
 - (1) 有形固定資産の減価償却累計額 20,295,269 円
- 4 株主資本等変動計算書に関する注記
 - (1) 発行済株式総数 500 株
- 5 一株当たり情報に関する注記
 - (1) 一株当たり純資産額は、△40,018.95 円です。
 - (2) 一株当たり当期純利益は、8,010.74 円です。

監査報告書

1. 監査対象期間（第25期）

自 平成27年10月1日

至 平成28年9月30日

2. 監査概要

私たち監査役は、株式会社北前館の第25期の営業年度における経営状況について、平成28年11月1日代表取締役石田孝一より提出された貸借対照表、損益計算書及び収支証拠書類並びにこれらに付帯する関係補助簿について、佐々木総支配人より報告、説明を受け照合精査いたしました。なお、この度の監査において監査場所は株式会社北前館、監査立会人は、代表取締役石田孝一でした。

3. 監査結果

- (1) 会計全般にわたり、関係帳簿と照合精査した結果、会計帳簿の記載金額と一致し財産目録、貸借対照表及び損益計算書は、株式会社北前館の損益の状況を正しく表示していると認めます。
- (2) 取締役の職務遂行に関する不正行為又は、定款に違反する事実はないと認めます。

4. 監査意見書

私たち監査役は、毎月の役員会に出席して取締役の経営検討執行状況及び、日々の従業員の勤務状況も確認してきました。

第25期決算に於いては、4,178千円の経常利益、4,005千円の当期純利益が計上されています。リニューアル後の集客増、経費の削減対策などが功を奏した結果ではありますが、まだまだ夏期シーズンに依存する形からの脱出はなされていません。大変困難な問題ではありますが、経営を安定させるために取締役及び社員全員が一丸となり、尚一層の努力をされることを切に望みます。

平成28年11月1日

監査役 太田垣 征 司

監査役 宮 嶋 俊 夫

株式会社 北 前 館

代表取締役 石 田 孝 一 殿

株式会社北前館第 26 期事業計画及び収支計画

1 事業計画

本年 3 月に施設の改修が終了し、北前船資料室は「かぜまちミュージアム」として、玄関ホールはアクティビティを中心とした観光情報の発信及び観光案内を行う「たけのナビステーション KITAMAE」として新たに整備されました。

インターネット等での口コミが飛躍的なスピードで多様な情報として発信される今日、お客様をも情報発信の媒体とする営業戦略の構築が必要とされる時代に向けて、この度整備された新しい機能をいかに活かすことができるかが今期の重要な課題であると考えております。

様々な情報が氾濫する中で、竹野のファンを増やし、北前館の利用者を増やすために、竹野の最大の武器である美しい海を映像で発信するとともに、海のアクティビティとして増客を続けているジオカヌーに続く新しい魅力ある商品づくりに努めてまいります。

また、1 次産業と連携した漁業体験、農業体験など着地型の旅行商品を整備し、中小旅行エージェントへの売り込みや海産物、農産物のネット販売にも取り組んでまいります。

加えて、観光施設として交流人口の増加だけにとどまらず、Uターンや定住人口の増加を念頭に置いた商品づくりを進め、竹野地域の活性化に貢献できる取り組みを構築してまいります。

部門ごとの取り組みにつきましては、レストランは仕入れルートの見直しなど原価の削減を行いつつ、地産品の活用により特徴のあるメニュー作りに努め、企画旅行の昼食の誘致にも注力いたします。

近隣の宿泊施設と連携した宿泊客への夕食の提供など食泊分離のニーズへの対応も進めてまいります。

温泉部門におきましては、飲食や宴会と連動した商品づくりで各方面での認知度の向上を図ります。

特産品部門につきましては、旅行エージェントによる立ち寄り処としての活用を進めながら、野菜の販売拡充など地元との連携による商品展開の充実を図ってまいります。

また、これらを推進するため、企画、販売、運営体制を見直し、組織を強化してまいります。

以上の方針に従い、第 26 期の運営を進めてまいりますので、株主の皆様をはじめ市民の皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

予 定 損 益 計 算 書

株式会社 北前館

自 平成 28 年 10 月 1 日
至 平成 29 年 9 月 30 日

科 目	金 額	
(営業損益の部)		千円
【売 上 高】		105,000
レストラン売上高	38,800	
温泉浴場売上高	21,300	
特産品店売上高	13,500	
受 託 料	9,500	
駐 車 場 整 理 料	9,000	
ジオカヌー利用料	6,098	
そ の 他	6,802	
【売 上 原 価】		26,000
期 首 棚 卸 高	1,858	
仕 入 高	26,000	
合 計	27,858	
期 末 棚 卸 高	1,858	
売 上 総 利 益		79,000
【販売費及び一般管理費】		73,857
営 業 利 益		5,143
(営業外損益の部)		
【営 業 外 収 益】		500
受 取 利 息	1	
受 取 配 当 金	1	
雑 収 入	498	
【営 業 外 費 用】		1,143
支 払 利 息	1,143	
経 常 利 益		4,500

販売費及び一般管理費内訳書

株式会社 北前館

自 平成 28 年 10 月 1 日

至 平成 29 年 9 月 30 日

科 目	金 額	千円
給 与 手 当	33,238	
役 員 報 酬	830	
法 定 福 利 費	3,837	
福 利 厚 生 費	350	
広 告 宣 伝 費	2,250	
発 送 配 達 費	100	
減 価 償 却 費	3,380	
賃 借 料	250	
修 繕 費	505	
事 務 用 消 耗 品 費	500	
通 信 交 通 費	1,691	
水 道 光 熱 費	13,149	
租 税 公 課	3,400	
会 費 負 担 金	873	
接 待 交 際 費	367	
保 険 料	800	
備 品 ・ 消 耗 品 費	2,356	
支 払 手 数 料	3,386	
車 両 関 係 費	530	
リ ー 入 料	465	
雑 費	1,600	
合 計		73,857